

奏 (かなで)

安中市立第一中学校第2学年通信

No. 10 令和4年 9月 9日

少し長くなりますが…

先日、合唱コンクールの指揮者と伴奏者のオーディションがあるので、見学させてもらいました。どの生徒もよく練習を積んでおり、見ていて圧倒されるようでした。

これから2年生は様々な試練のときを迎えます。上記のオーディションも選ばれるのはたった一人です。そして間もなく始まる生徒会役員選挙にも、たくさんの生徒が立候補してくれるようです。しかし、当然ながらここでも当選する人、落選する人が出てまいります。また、部活動では部長やキャプテンに選ばれる人、レギュラーになれる人、なれない人がだんだんと決まってきます。

親の立場からすると、自分の子どもがそういったものによって選ばれて活躍する姿を見たいと願うのは当然でしょう。しかしながら、自分が思い描くように進まないのが人生です。我が子がそのような挫折を味わったとき、親はどのような態度で子どもに接するべきでしょうか？

基本的には、そのようなことにチャレンジしたり一生懸命頑張っている子どもの姿勢を褒めてあげましょう。間違っても「お前には〇〇が足りないからダメなんだよ!!」と叱責したり、うまくいかなかったのを他人のせいにしてしまうことはやめましょう。それは子どもの成長を阻害し、言い訳ばかりする子どもにしてしまいます。

指揮者のオーディションの翌日、残念ながら落選してしまったある生徒の「ライブ」を担当に見せてもらいました。そこには、指揮者になれなくて悔しいけれど、気持ちを切り替えて歌を頑張りたい、指揮者に選ばれた子にも協力したい、という内容とともに、いろいろと話を聞いてくれてアドバイスをしてくれた先生方への感謝の言葉も書かれていました。なかなかできることではありません。我々大人でもうまくいかないことがあると、ついつい言い訳をしたり、他人のせいにしてしまったりしてしまいがちです。深く反省させられるとともに、このように立派に成長している生徒がいることをたいへん頼もしく思いました。



SDGs学習が始まりました!

2学期の「総合的な学習」はSDGsについて学んでいきます。夏休み中に取り組んでもらったレポートをもとに9クラスに分かれ、さらにその中で少人数のグループを作ってそれぞれの研究テーマに基づいて学習を進めて参ります。

これから学習や研究を進めていく中で、ご家庭にも協力頂くことが出てくる場合もございますので、よろしくお願い申し上げます。

研究発表会は11月を予定しております。我々も初めてのことなので、戸惑うことも多々あるかと思いますが、生徒とともに“持続可能な社会”を目指して努力して参りたいと思います。

